

清田区のシンボル & ふるさと遺産

広報さっぽろ11月号で発表した、3つの「清田区のシンボル」と12の「清田ふるさと遺産」。今後はそれぞれ広くPRするとともに、まちづくりに活用していきます。今回の特集では一つ一つを詳しくご紹介します。

A 白旗山

清田区の南西部に位置し、標高は321.5m。その一帯は札幌市最大の市有林として大切に保全され「白旗山都市環境林」として整備されています。白旗山競技場は、冬はFIS公認の距離競技場として、夏は天然芝のサッカー場として通年利用されています。このほか自然観察の森では自然体験学習や自然観察を、ふれあいの森では散策が楽しめます。

清田区の シンボル

応募者の 声

- ・清田区の自然の宝庫。(40代女性)
- ・緑が豊かで冬はノルディックスキ一大会の会場として使われるなど札幌市の冬のスポーツの拠点。(40代女性)

B 平岡 梅林

清田区唯一の総合公園である平岡公園の西側に梅林が整備され、開花期には梅の名所として道内各地から観光客が訪れています。平岡公園には、豊後性の紅梅種と白梅種が4：6の割合で、約1,200本植栽されています。

応募者の 声

- ・みごとな梅の木々、花見の季節は年々盛り上がりを見せています。大切に守りたいものです。(50代女性)
- ・春の梅園は緑の芝生と梅の花のコントラストが最高。(70代女性)

C あしりべつ川

札幌市を流れる一級河川。流路延長41.7km。豊平川の最大支流で、空沼岳山頂付近を源流とし、下流で豊平川に合流しています。清田区の中心部分を南北に縦断しており、両岸に樹木や花々が栽培されるなど緑地として整備され、散策やパークゴルフを楽しめる憩いの場となっています。

応募者の 声

- ・河川敷も含めて、この川なくして清田は語れない。緑と水が人間に与えることの大きさは、はかり知れない。清田区の文化の源流。(60代女性)

清田区マップ



【シンボル・ふるさと遺産に関するお問い合わせ】

清田区10周年事業実行委員会 シンボル事業部会担当
地域振興課まちづくり推進係 ☎889-2400 (内線228)

シンボル・ふるさと遺産ごとに表示したアルファベットは、マップ内の位置を示しています。